平成29年度 町政懇談会について

先月号に引き続き、平成29年6月24日(土)から7月9日(日)にかけて行いました町政懇談会の会場で寄せられたご意見、ご質問の中から一部を要約してお知らせします。

上毛町の財政状況について

Q 町の基金が増えた要因を教えてください。

A 平成17年の合併以降、普通交付税の上乗せ(合併算定替)により財政支援を受けていますが、この支援がなくなった後に備え、無駄遣いを控え、過度な施設整備を行わなかったことが主な要因であると考えています。

Q 将来高齢化が進み税収が減少した場合に、歳入と歳出のバランスをどのようにとりますか。

A 働く世代の層を増やす施策と子どもを産み育てられる環境づくりを併せて行うことで人口増につなげていきます。産業構造をしっかりと作ることで働く層が増え、税収増につながれば、企業誘致だけでなく商業施設の誘致も考えていきます。このような施策を行っていく中で財源が不足する場合は、現在蓄えている基金を有効に活用したいと思います。

外灯の設置について

Q 外灯の設置はどのように行っていますか。

A 新設の場合は、自治会長さんから町へ申請をいただき、電気代を地元自治会が負担し、設置及び設置後の修理などの費用は町が負担しており、地区で何カ所というような上限はありません。なお、新規設置や器具を交換する場合は、全てLEDで設置しています。

町の防災対策について

Q 山国川が増水したときの唐原地区の避難所はどこですか。

A 山国川に伴う災害の場合、唐原地区の避難所は、ふれあいの家京築となります。その他の災害の場合は、唐原コミュニティセンターです。

Q 原井地区では耶馬渓ダム放流時のサイレン設備がなく、増水時の農業用ポンプ操作の際に非常に危険であるため、危険防止のための設備を設置できませんか。また、今回の大雨で山国川が増水し水田が浸かった箇所があるので堤防のかさ上げをお願いします。

A 町から国土交通省山国川河川事務所に相談、要望を行います。

上毛町のPRについて

Q 上毛町自体が知られておらず、町のPRが足りないと思います。

A 大任町が行っているキャッチフレーズ、道の駅にある1億円のトイレなどのPR方法は参考になると思います。上毛町は高速道路もあり、海も近く条件は良いので他にないことをやることで集客を増やし、しっかりと町のPRを行っていきます。

上毛町第2次総合計画について

Q 第2次総合計画は第1次総合計画の検証を行ったうえで策定されていますか。

A 第1次総合計画の内容について大学教授などの専門家による検証を行った後、第2次総合計画を策定しました。総合計画は10年間を期間とし、5年ごとに見直しを行うことになっていますので、町民の意見を取り入れて5年後は後期基本計画という形で計画を策定します。

Q 第2次総合計画では生涯学習、スポーツの推進をどのように考えていますか。

A スポーツの目的には、健康づくり、地域の活性化などがありますが、各地区のスポーツ推進員さんには、特に地域のスポーツを支えていただいていると認識しています。今後も推進員さんへの支援など、町が開催する大会に多くの方が参加しやすいよう環境づくりを行っていきます。

Q 第2次総合計画の基本目標に生活インフラの充実とありますが、簡易水道の拡張区域に入っていない地区に対して、ボーリングやポンプの設置補助を検討できませんか。

A 平成22年に策定した水道計画の中期計画により、現在、下田井地区まで給水区域拡張を完了しています。今後も給水区域の拡張を行っていきますが、山間部など一部の地域では将来拡張計画の給水区域になっていない地区もあります。簡易水道の受益とならない地域については、違う形の施策を検討します。

Q 基本目標に「子どもが輝くまちへ」とありますが、原井地区から上毛中学校までは自転車で40分かかり通学が大変です。中津市に寄留したほうが良いのではないかと思っています。

A 他の地区でも高校への遠距離通学に関するご意見をいただいています。ご意見を参考にさせていただき何らかの手だてを検討していきます。

人口増に向けた町の取組について

Q 2040年に人口1万人を目標としていますが、具体的な方策はありますか。

A コモンパーク上毛彩葉のような優良な住宅の整備や、雇用確保のための企業誘致などを主な方策として進めていきます。

また、子育て支援や教育に特化して様々な施策を行っていますが、情報発信が十分できていない部分がありますので、今後はしっかり行っていきたいと思います。

Q 企業誘致を行い、雇用を確保することは重要ですが、それだけで1万人の目標を達成するのは難しいのではないですか。他に町が行う施策があれば教えてください。

A 上毛町の人口は年間で40～50人程度減少しています。人口を増やすためには出生と転入を増やすことが重要です。そのためには、住環境が整っていなければ若い世代は転入してきません。彩葉などの住宅政策や企業誘致による働き場所の確保のほか、子どもを産み育てる環境、教育、インフラ整備などを総合的に行わなければ人口は増えないと考えています。町民の皆さんの声を聞きながら、第2次総合計画に基づき、将来を見据えて施策やまち・ひと・しごと・総合戦略を実施していきます。

企業誘致について

Q 企業誘致のためには計画的に土地を準備することが必要ではないですか。

A 企業からは東九州自動車道が開通し、上毛町の立地条件は良いと言われていますし、いくつかの企業からも進出の打診がありましたが、土地の用意ができていないためお断りしている状況です。雇用のないところに定住はないと考えていますので、今後企業誘致のための用地を準備していきます。

旧地ビール館跡地について

Q 旧地ビール館跡地に企業を誘致することが具体的に決まっているのですか。誘致するのであれば建物はぜひ活用してほしいと思います。

A 旧地ビール館については、現在に至るまでいろいろな問題を抱えていましたが、担当課において一つずつその問題を解決し、町の所有となりました。そこに企業から進出の打診がありましたが、まだ決定しているものではありません。また、建物については色々なご意見を考慮しながら活用ができればと考えています。

ふるさと納税について

Q 上毛町でのふるさと納税の状況はどのようになっていますか。

A 昨年の9月から取り組みを開始し、累計の納税額は約1億4千万円となりました。(平成29年6月末時点)

平成28年度では約8千8百万円のふるさと納税があり、納税額から返礼品、委託料などの必要経費を差し引いた3千3百万円を今後の事業のため基金へ積み立てています。

(参考　平成28年9月から一年間で累計約2億3千7百万円)

高齢者などのごみ出しについて

Q 高齢者などでごみ出しが難しい方への対策は検討していますか。

A 地元自治会長さんと協議をさせていただき、どうしても地区のごみステーションまで持ち込むことができない場合は、最寄りの空き地などに小型のごみかごを設置する制度を利用していただいております。今後もごみ出し支援については、自助、共助、公助の順番を考えながら、関係課が連携して検討、協議してまいります。

高齢者運転免許証自主返納制度について

Q 町の高齢者運転免許証自主返納制度について教えてください。

A 本年度から65歳以上の方で運転免許証を有効期限内に自主返納された方を対象に①タクシー初乗り利用券(初乗り20回分)、②築上東部乗合タクシー回数券(1万円分)、③道の駅しんよしとみ、またはさわやか市のお買い物券(1万円分)のいずれかをお渡ししていますので、自主返納のきっかけにしていただければと思っています。